



旧広島陸軍被服支廠の活用を考える
ワークショップ
＜第2回＞

2022年3月13日（日）

★ワークショップの概要

ワークショップの内容 (予定)

済

第1回

- ・まず,検討スタート!話してみましょう
- ・被服支廠のことを知りましょう
- ・被服支廠について,参加者の今の考えを集めてみましょう

いろいろな話を聞いて,皆さんでも調べたりして,活用方法を考えていきましょう

第2~3回

- ・各種団体や先生など,いろいろな方々の話を聞いてみましょう
- ・活用にあたって,大切にしたい考え方(大きい方針)を話し合ってみましょう

本日

第3~4回

- ・活用方策のアイデアをいろいろな視点から出してみましょう

3月26日 午前に,現地見学を実施します。後程,参加のご希望についてお聞きします。

第5回

- ・懇談会のメンバーとの意見交換など,ワークショップの結果を振り返り,広く発信していきましょう

活用の方向性が絞れて来たら,分野別の話し合いもやってみたいと考えています

すぐできることがあれば,早速やってみるのもいいかも

©検討状況に応じて変更する可能性があります

本日のタイムスケジュール

時間	内容	
13:00～13:10(10分)	あいさつ・本日のワークショップの流れ	
13:10～13:25(15分)	キーパーソン ヒアリングセッション	NPO法人 ひろしまインターネット美術館 理事 積山 ミサ 様
13:25～13:40(15分)		旧被服支廠の保全を願う懇談会 副代表 多賀 俊介 様
13:40～13:55(15分)		株式会社 JizoHat 代表取締役ポール ウォルシュ 様
13:55～14:05(10分)		質疑応答
14:05～14:15(10分)	休憩	
14:15～14:25(10分)	ワークショップ	ワークショップの進め方
14:25～15:10(45分)		被服支廠を活用するうえで大切にしたい考え方を語ろう
15:10～15:25(15分)		大切にしたい考え方を共有しよう(発表)
15:25～15:30(5分)		講評(積山 ミサ様)
15:30	次回ワークショップについての説明, 閉会	

★キーパーソンヒアリング

NPO法人 ひろしまインターネット美術館 理事 積山 ミサ 様

旧被服支廠の保全を願う懇談会 副代表 多賀俊介 様

株式会社 JizoHat 代表取締役ポール ウォルシュ 様

★第1回ワークショップのおさらい

ワークショップの目的

本ワークショップでは、様々な世代の方々にご参加いただき、被服支廠の活用に向けて、何を大事に考えていきたい？、どんな活用のアイデアがある？といったご意見を広く集めていきます。

その結果は、旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会に提示しながら、「活用の方向性」の取りまとめに活かしていきます。

ワークショップのスケジュール

第1回

- ・ 検討スタート！まずは話してみましよう
- ・ 被服支廠のことを知りましよう
- ・ 被服支廠について、参加者の今の考えを集めてみましよう

今回の
ワークショップ

第2～3回

- ・ 各種団体など、いろんな人の話を聞いてみましよう
- ・ 活用にあたって大事にすべき視点（大きな方針）などを話し合ってみましよう

第3～4回

- ・ 活用方策のアイデアを、いろんな視点から出してみましよう

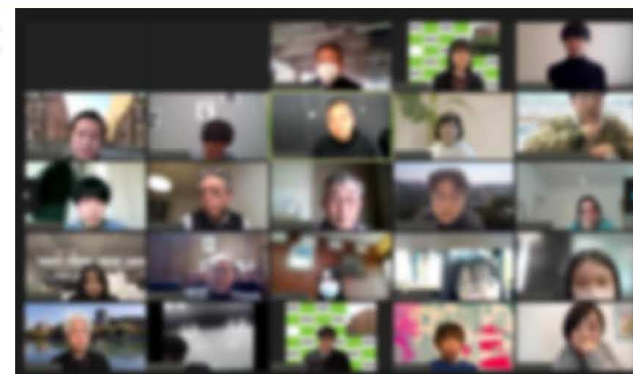
第5回

- ・ ワorkshopの結果を振り返り、広く発信していきましよう

今回はこんな内容でした！

①Zoomによるワークショップにチャレンジしました！

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、対面での実施が困難になったため、オンラインにてワークショップを実施しました。



②アーキワーク広島 代表 高田さんにご講演いただきました！

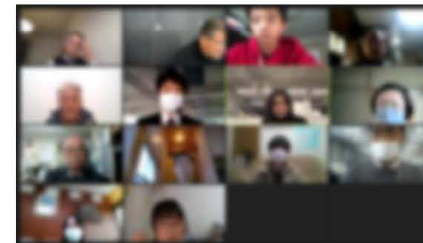
被服支廠とはどんな施設なのか、どんな魅力を秘めているのか、参加者の皆様に知っていただくため、アーキワーク広島の高田さんにご講演いただきました。

1. 被服支廠とは？
～その歴史経緯～



③参加者には自己紹介と、被服支廠に対する思い・アイデアを語っていただきました！

ワークショップでは4つのグループに分かれて、被服支廠の未来を考える仲間として、お互いの理解を深めながら被服支廠について語っていただきました。



〈イメージ〉

明るい未来が想像
できるような場所



ワクワクする気持ち
が起こる場所

人が集まって交流
できるような場所



未来の平和を
創る場所

〈大事にしたいこと〉

- 被爆，戦争などの**暗いイメージではなく**
- 資料等の閲覧のみでなく，**行きたいと思える場所へ**
- **復興の象徴として緑化**
(緑とレンガの対比)
- 広島はお酒のイメージがあり，**ピース(平和)とお酒の融合**もおもしろそう
- **アートの活用**もできると面白い
- 将来，**被服支廠内で働きたい**
- **建物自体の歴史的価値を活かす**
- **毎月のように行ける場所へ**
- 広島に暮らす市民と融合して**交わる場所**
- **施設そのものを感じられる**何もない空間
- **手を加えずそのままの形で**人が集まり交流できる
- **被爆者の声，追悼**の空間。被爆時の詩を朗読できる場所
- 事実を忘れないために，**戦争や平和について考えることができる**空間



〈活用のアイデア〉



- 「ピースウォーク」の一環として原爆ドームを廻り被服支廠へ宿泊。
～平和に絡めた**体験型宿泊施設**～
- 被爆者の方の資料を保存・活用する**文書館**
～**平和に特化したアーカイブ**～
- アートを作って発信できる空間
～**芸術発信拠点**～
- 様々な**展示会・建築に特化した企画展**が実施できる空間・会場
～**多目的展示場**～
- 他都市の事例も踏まえた**商業施設，集客施設**
～**複合型商業施設**～
- 近代史や戦後復興の記録を扱う空間
～**都市博物館**～
- 市民の**交流施設** (音楽・美術・研究機関等)
～**複合施設**～
- 市民参加型による周辺緑化等の整備

様々な活用アイデアが
寄せられました



〈 類型 〉	〈 アイデアのもとにある考え 〉	〈 アイデア 〉
<p>知ってもらう ・ アクセス しやすくする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 被服支廠を知らない人が多い 周知・誘導が大事 	<ul style="list-style-type: none"> 駅や観光スポットでの掲示案内 ループバスや雁木タクシーで周る G7の会場にする 活用案を考えるコンクールを毎年開催する 
<p>子どもたちが 学ぶ・考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子ども（小中学生）が学ぶきっかけになるような施設に 	<ul style="list-style-type: none"> 県内の小中学校でアンケートをとり認知度を 確認⇒被服支廠で何をしたいかを聞く 子どもの図書館、資料館 この空間で学ぶ（校舎として使う）体験
<p>広さを活かす</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4棟とも残って欲しい 住宅地の中にある 	<ul style="list-style-type: none"> 地ビール、クラフトビール施設 サウナ、スパ施設 
<p>文化・平和・交流 の拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 芸術や広島の文化に触れられる施設に 役に立つ+収益がある 平和について学べる場所に 広島にユースホステルがなくなった 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽やアート、お酒や神楽を楽しむ場所 広島県の文化振興拠点（オフィス、アトリエ等） 「国際平和拠点ひろしま」推進の拠点 原爆関係の文学館 常設のビデオシアター ユースホステル
<p>地元の人が 使う・管理する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 広島には世界遺産がすでに2つ⇒その観光で一日かかる 地元の人が花壇を整備していた 皆実町中通り商店街のお店が少なくなっている⇒活性化につなげたい 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客ではなく、地元の人が使いやすい施設にする 管理運営に地元の人に関われるしくみづくり 商店街で何かやれたらいい 
<p>持続可能な 活用法の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> 活用法は平和関連に偏らなくてもいいのかなという印象 使う人に自分たちで考えてもらう（決め打ちではなく） 活用のための改修等についてのコンセンサスが必要 	

〈 活用の考え方 〉

〈 具体的な活用アイデア 〉

芸術・文化の
発信の場

- **新しい工芸の発信拠点**
- 夏以外の観光客が少ない時期の**観光の目玉**となる場所
- **地域経済の活性化に寄与**するサービスがあったら良い

過去と未来を
繋ぐ

- 原爆という過去のイメージだけでなく、**現在の広島の子の姿**を伝えていく場所
- 被爆や戦災復興についての**発信点**
- 被爆団体などの**関係団体の思いを尊重**する
- 平和=原爆に捉われない「**平和**」を**発信し**、**世界の子供たち**が平和について学ぶことができる場所
- 10年、20年先も**持続可能な施設**
- みんなが**笑顔になれる場所**




立地や建物の
個性を生かす

- 2023年のG7広島誘致も視野に入れた、**世界中のたくさんの人々が訪れる場所**
- 広島市内全体の**まちづくりビジョンを反映**する
- 周辺施設(広島大学の医学部、県内の放射線研究施設)やプロジェクト(広島駅前開発など)との**面的な連携**
- **見た目のインパクト**を利用するなど、他の施設との**差別化**が必要



- **広島在住の職人と学生が交流**できる工房
- 音楽や実演アートなどの**イベント**や吹奏楽などの**発表会開催**



- **お酒と音楽**を有料で楽しめる場所 
- 年1回、オリジナルの平和の音楽を一般公募して演奏(毎年音楽が増えていく)



- 音楽にこだわったドキュメント写真の展示場
- 被爆や戦災復興について**デジタルアーカイブ**で発信する
- 被爆者の思いに寄り添うための**原爆のイベント**とともに、**マルシェ**などのイベントも定期的に開催
- **IT関連の研究施設** (島根県で廃校をデータセンターとして活用した事例あり)
- **メディアセンター・多目的ホール**



スモールスタートで、住民の意見を取り入れながら少しずつ作り上げていく施設

手段からではなく、被服支廠の**認知度を上げるためのターゲットや方向性**を考えたいし、意見を聞きたい

〈キーワード〉

〈大切にしたい思い・考え方〉

〈活用のアイデア〉

子ども,次世代
につなぐ

- 子どもに身近に感じてもらう
- 若い人に来てもらうことで建物を維持
- 子どもたちがまちを作る

持続可能な施設とするため
にはお金+愛着が重要

- 子どもの職業体験, **修学旅行で原爆+体験**があるといい
- **KIITO (デザイン・クリエイティブセンター神戸)**のような子どもたちがまちを作るという動きを被服支廠でしたい
- 子ども **図書館**・学校への出前授業



愛される場,
祈り・
憩いの場

- 後世に悲惨な出来事を含めて情報発信
- 被服支廠のポテンシャルを活かし昔の歴史に光をあてる (**都市の記憶**)
- 静かで, 祈りに通じる憩いの場
- 外部の人が来る場所は地域の人も来やすい場所になる

- **静かな時を過ごす場** (保存しながらカフェやホテル (タスマニアなど海外事例あり))
- 中央**図書館**, 広島駅前ではなくここに持ってきたら?
- 開架式の蔵書館



アート作品から
平和の祈りを
発信

- 国際アニメーションフェス(現在は別の文化活動)のような活動の継続
- 音楽, 映像, 視覚的アート作品から平和を発信
- アート活動をすることで**平和のメッセージが自然と出てくる**
- **インスピレーションが高まる非日常的空間**

- 想像力を高めるような**滞在型アートセンター**
- **アーティストの創作活動, ワークショップ, ワーキングスペース**
- **アニメーションデジタルの** **NFTで販売し施設の維持費を出す** **体験, 作品が見られる施設**
- **デジタルラボ・広島デジタル倉庫** (モノづくりができる場所, 子どもも大人も集うことができるもの, 平和作品もデジタルアーカイブする)



都市型
複合施設で
人を集める

- 平和だけでなく, 貧困, 海洋汚染など世界中の問題を発信できる場所
- 戦前の歴史から戦後の復興まで若い人にどうすれば平和を保てるかを知ってもらう場所
- **複合することで人を集める**

- **都市型合宿研修所** (大学・社会人・修学旅行)
- **第2の資料館** (軍都広島→被爆→復興→平和)
- 平和のアーティストが多いので**美術館, 映像文化ギャラリー, 図書館**などを複合
- 広島市内の慰霊碑巡りの**情報提供, 周遊バス**を設ける, **駐車場の設置**

周辺を巻き込んで
共同で人を集める

産業会館, 比治山にも
利用者用の駐車場を作る

★ワークショップ

■今日の意見交換のルール・コツ

①自由な発想大歓迎（いままでの概念を取り払おう！）

②他人のアイデアに便乗して考えよう

③他人の発言を批判しない

禁句（言ってはいけないこと）

実現しない. 空想的だ. くだらない. わかりきっている. コ
ストがかかる. 意味がない. 以前やって失敗した. など

④一人でしゃべり続けない（大事な時間をみんなで有効に）

⑤ファシリテーター（進行役）・書記に協力を！

縁あって集まった“仲間”！
みんなでいい話し合いをしま
しょうね！



今日は、第2回目のワークショップです！
～こんなワークをします～

- 第1回及び応募資料から場所の持つポテンシャルや皆さんの大切にしたい考え方を抽出して「ワークシート1:連想マップ」を作成しています。
- このシートを見ながら被服支廠を活用するにあたって大切にしたい考え方を集約して5本程度にまとめてください。

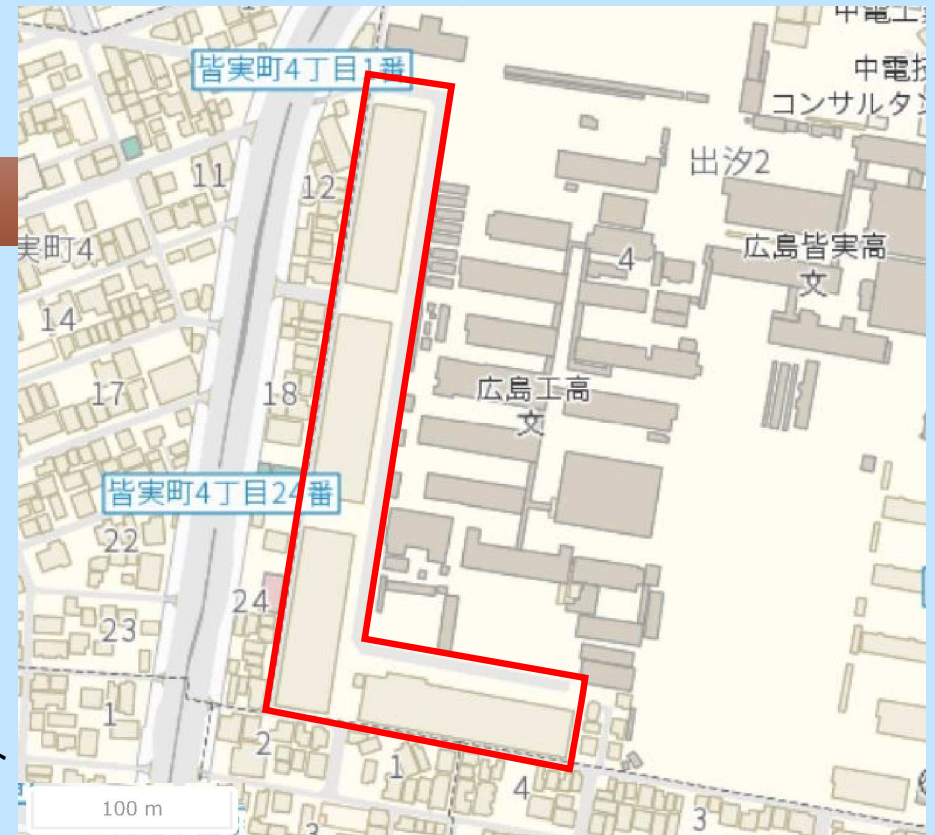
■ワークショップを進めるうえでの前提の考え方

被服支廠の活用は誰のため？

- 広島県民みんなが利益を享受できる
- 世界にも発信するという視点から“**県民だけでなく、全国・世界の人々**”へ、一方、身近な施設として“**地域の人たち**”も活用できる
- **運営する人、収益を得る人、利用する人**という視点から、**多様な人**が関わる施設となる

今回活用を検討する範囲は・・・

- 今回の検討は**4棟とその周辺を基本**と考えます（元々の被服支廠の敷地の範囲はもっと広いですが）



出典：NTTインフラネット

■ワークショップを進めるうえでの前提の考え方

活用に際して留意すべき点

- みなさんがそうだ！と思える基本的な方針に沿って、活用具体的方法を考えることが大事(方針は複数あるかもしれません)

⇒まず、被服支廠の活用に対する
「大切にしたい考え方」を明確化

本日のワーク
ショップはこの
部分を考えます

- 被服支廠の歴史性や立地条件を踏まえた活用とする

⇒被服支廠のもつ時代背景や歴史的背景,建物自体
(巨大構造物,RC一レンガ造)を活かす

※重要文化財指定に向けた課題(制約条件の整理等)については別途検討会議にて検討中であり,ここでは検討対象外

- 施設規模が大きいため,活用方法は一つじゃない(組み合わせが有効)

⇒「大切にしたい考え方」のもと様々な
活用方法を皆さんで出し合う

次回ワーク
ショップ

■ワークショップの進め方（まず最初に）

①役割を分担しましょう

- ファシリテーター（進行役）1名，書記2名程度（WEB会議は事務局でやります），発表者を決めましょう。発表者は1名でなく2名でも3名でもOKです。

※ファシリテーター（進行役）って何？

班のみなさんが意見を言いやすくする進行役！

- ファシリテーター（進行役）は、簡単に言うと、班の話し合いの**進行役（司会者）**です。
- 参加者一人ひとりの考えや意見、アイデアなどを聞き取ったり、引き出ししながら、班の話し合いを進める役割です。
- **自分の意見をいうのもOK**。だけど、自分の意見を話す**講師ではありません**。班のみなさんが発言できるよう、意見を出しやすくするよう、心掛けてください。
- ファシリテーターが、ご自身の意見を話される時などは、まわりのみなさんがサポートしてくださいね。

今回のワークの最終目標は・・・

- “大切にしたい考え方”を5本程度にまとめることが最終目標です。

■書記って何？

大切な意見を、書き留めて、しっかり残す役割！

- ワークショップでは、参加者の皆さんが、口頭でお話しされる場合が多いですが、みなさんのご意見は、記録して残さないと、忘れ去られてしまう可能性が大きいです。
- 書記の方は、みなさんの意見(要点,結論)を書きとって、しっかりと残す役割です。
- 今回は、2人体制でやるのを基本にします。
- 班での話し合いのやり方は、一定お任せしますが・・・
 - ◆ 書記の方は書き取るのが大変なので、皆さんで付箋に書いて、張り付けるのもよくやる方法
 - ◆ その場合、付箋に書いた内容が、あとで他の人が見て、“こういう意見なんだ”と理解できるように、確認の聞き取りをしながら、補足の言葉を追記するのがポイント！

■ワークショップの進め方（全体）

①役割を分担しましょう

- **ファシリテーター（進行役）1名**，**書記2名程度**（WEB会議は事務局でやります），**発表者**を決めましょう。発表者は1名でなく2名でも3名でもOKです。

②連想マップで「いいね！」を探す

- **ワークシート1**の連想マップから「いいね！」「共感できる！」という意見に「いいね！シール」を貼りましょう。（WEBは挙手でカウント）

③「いいね！」シールを見ながら連想しましょう

- 「いいね！シール」がたくさん貼ってある意見はどれでしょう？
- 皆さんが共有している「いいね！」という意見に追加することがあれば追加してみましよう。

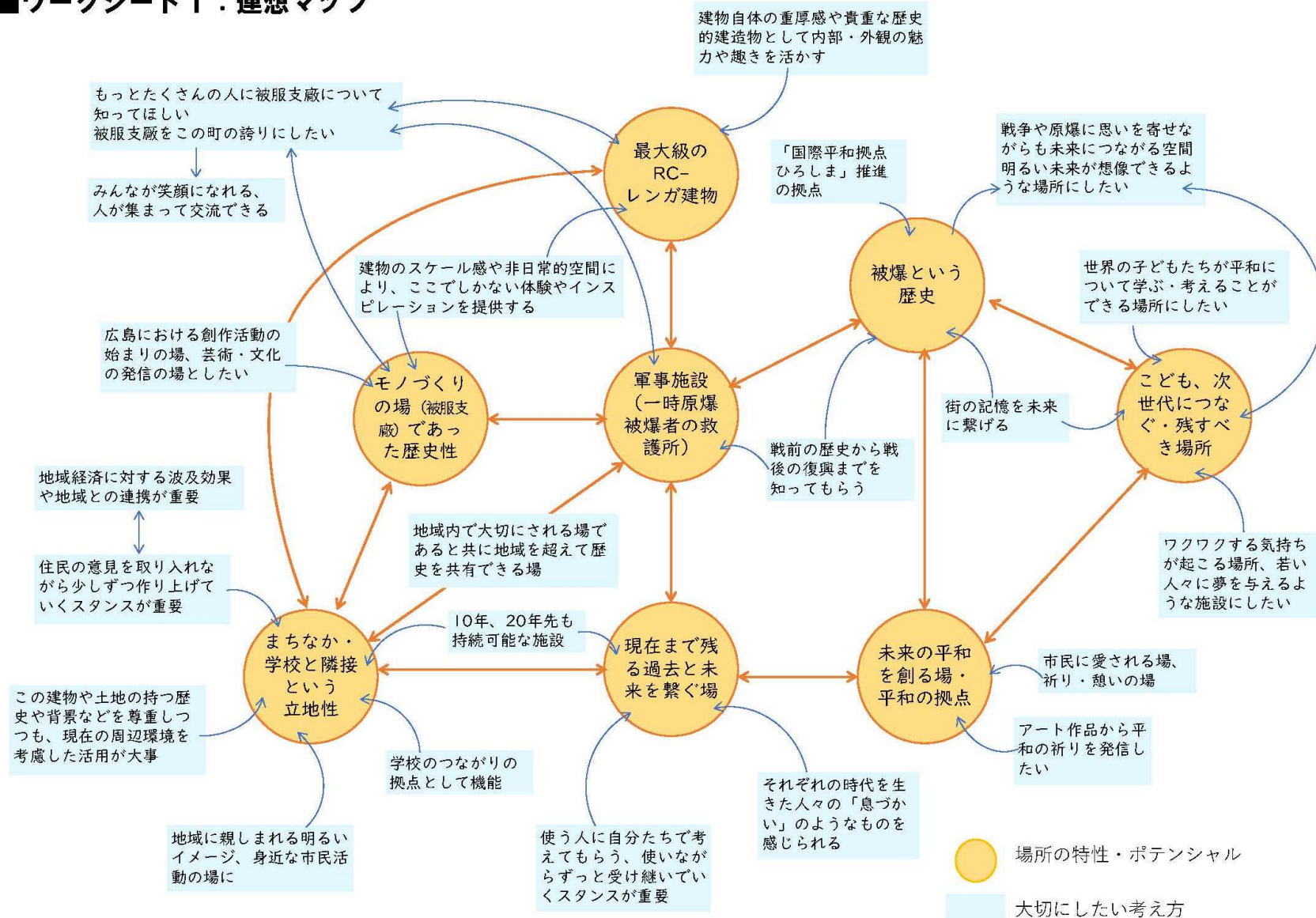
④活用に際して大切にしたい考え方をまとめましょう

- **ワークシート2**にみんなの意見を踏まえて「活用に際して大切にしたい考え方」を5本程度にまとめましょう。発表者はワークシート2を発表していただきます。

■ワークシート1：連想マップ

第2回ワークショップ 場所の特性・大切にしたい考え方

■ワークシート1：連想マップ

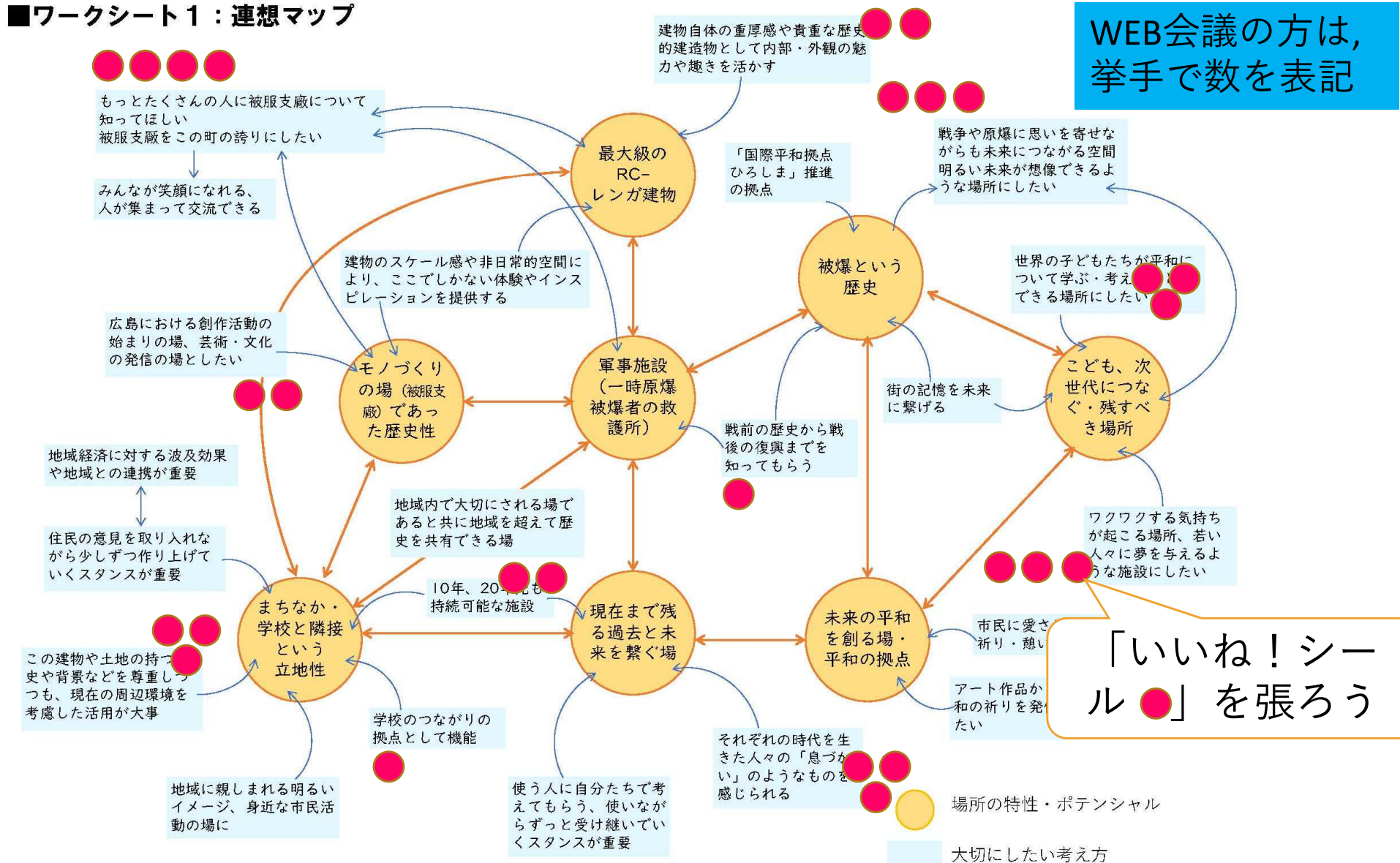


②連想マップで「いいね！」を探す

第2回ワークショップ 場所の特性・大切にしたい考え方

■ワークシート1：連想マップ

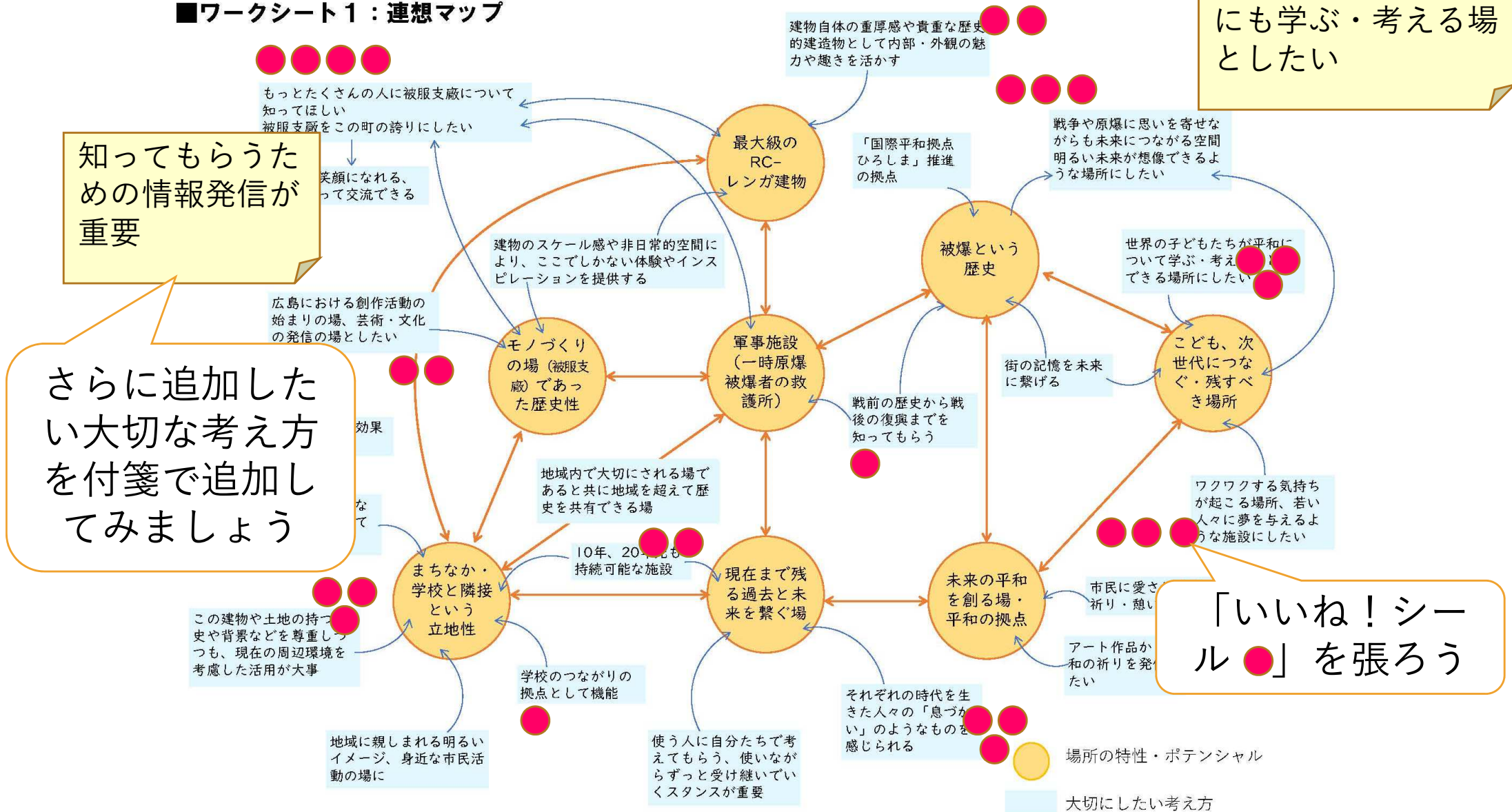
WEB会議の方は、
挙手で数を表記



③「いいね！」シールを見ながら連想しましょう

第2回ワークショップ 場所の特性・大切にしたい考え

■ワークシート1：連想マップ



④ 活用に際して「大切にしたい考え方」をまとめましょう

第2回ワークショップ 場所の特性・大切にしたい考え方

■ワークシート2：大切にしたい考え方まとめシート

わたしたち 班は

を大切にしたいです。

④ 活用に際して「大切にしたい考え方」をまとめましょう

■ワークシート

わたしたち 班は

班の名前を書いてください

場所の特性・大切にしたい考え方

本日のワークショップでは、これをまとめる！

ワークシート 1 で皆さんで話し合った「大切にしたい考え方」をまとめて書記の方は記載してください。
1 つでも 2 つでも OK です。

を大切にしたいです。

★話し合いの結果を共有しよう（発表）

★本日のふりかえり

★次回ワークショップについて

次回ワークショップについて

■次回のワークショップの日程

日時:5月中旬午後の開催を予定

場所:県庁会議室を予定

(コロナの状況でWEB開催に変更の可能性もあります。)

■次回のワークショップのねらい

- 活用に向けて「大切にしたい考え方」をもとに具体的な活用方法を皆さんで話し合い共有します。

■自主勉のススメ

■これからもよろしくお願いします！

- みなさんの意見,アイデアを集めて,懇談会などのまとめに活用していきます
- 使う人,運営する人が皆さんになるかもしれません。
- 10年後,50年後にいい形で使われている被服支廠になるように,考えをめぐらせてみてください。
- 自主勉大歓迎です！

■ 自主勉のススメ

- コロナもあって、屋外活動は難しいですが、参考となる情報、会議室の提供など、みなさんの“自主勉”に必要な協力をします！

窓口（ワークショップ募集要項と同じです）

■ 広島県 経営戦略審議官 経営企画チーム（担当：水本，野坂）

TEL:082-513-2346 Mail:soukeiei@pref.hiroshima.lg.jp

● 本日の情報提供

本日のキーパーソンヒアリングの映像は県ホームページで公開する予定ですので、公開次第、お知らせします。

● 懇談会委員からの情報提供

3月22日に第3回懇談会が開催されます。本日のワークショップで出た「大切にしたい考え方」について委員の皆さんに協議いただきます。

第3回懇談会でも先生方から情報提供がございます。県ホームページで公開する予定ですので、公開次第、お知らせします。

中西委員（旧被服支廠の保全を願う懇談会代表）

箕牧委員（広島県原爆被害者団体協議会理事長）

安部委員（安部良アトリエ一級建築士事務所 主宰）

★おわりに

- “チャット”にあげましたアンケートにご協力をお願いします
- 現地見学についても、本日可能な方は申し込みをお願いします。